

<p>第一課 一月五日 「この預言の言葉を朗読する人と、これを聞いて、中に記されたことを守る人たちとは幸いである。時が迫っているからである」 黙示録 一ノ三 新共同訳</p>	<p>第二課 一月二日 「耳ある者は、“霊”が諸教会に告げることを聞くがよい。勝利を得る者には、神の楽園にある命の木の実を食べさせよう」 黙示録 二ノ七 新共同訳</p>	<p>第三課 一月九日 「勝利を得る者を、わたしは自分の座に共に座らせよう。わたしが勝利を得て、わたしの父と共にその玉座に着いたのと同じように」 黙示録 三ノ二 新共同訳</p>	<p>第四課 一月二六日 「泣くな。見よ。ユダ族から出た獅子、ダビデのひこはえが勝利を得たので、七つの封印を開いて、その巻物を開くことができる」 黙示録 五ノ五 新共同訳</p>	<p>第五課 二月二日 「そして、彼らは新しい歌をうたった。『あなたは、巻物を受け取り、その封印を開くのにふさわしい方です。あなたは、屠られて、あらゆる種族と言葉の違う民、あらゆる民族と国民の中から、御自分の血で、神のために人々を贖われ、彼らをわたしたちの神に仕える王、また、祭司となさったからです。彼らは地上を統治します』」 黙示録 五ノ九、一〇 新共同訳</p>	<p>第六課 二月九日 「彼らは大きな苦難を通って来た者で、その衣を小羊の血で洗って白くしたのである」 黙示録 七ノ一四 新共同訳</p>	<p>第七課 二月一六日 「第七の天使がラッパを吹くとき、神の秘められた計画が成就する。それは、神が御自分の僕である預言者たちに良い知らせとして告げられたとおりである」 黙示録 一〇ノ七 新共同訳</p>
<p>第八課 二月三日 「兄弟たちは、小羊の血と自分たちの証しの言葉とで、彼に打ち勝った。彼らは死に至るまで命を惜しまなかった」 黙示録 一二ノ一 新共同訳</p>	<p>第九課 三月二日 「竜は女に対して激しく怒り、その子孫の残りの者たち、すなわち、神の掟を守り、イエスの証しを守りとおしている者たちと戦おうとして出て行った」 黙示録 一二ノ一七 新共同訳</p>	<p>第一〇課 三月九日 「ここに、神の掟を守り、イエスに対する信仰を守り続ける聖なる者たちの忍耐が必要である」 黙示録 一四ノ二 新共同訳</p>	<p>第一課 三月一六日 「主よ、だれがあなたの名を畏れず、たたえずにおられましようか。聖なる方は、あなただけ。すべての国民が、来て、あなたの前にひれ伏すでしょう。あなたの正しい裁きが、明らかになったからです」 黙示録 一五ノ四 新共同訳</p>	<p>第二課 三月三日 「わたしはまた、天から別の声がこう言うのを聞いた。『わたしの民よ、彼女から離れ去れ。その罪に加わったり、その災いに巻き込まれたりしないようにせよ。彼女の罪は積み重なって天にまで届き、神はその不義を覚えておられるからである』」 黙示録 一八ノ四、五 新共同訳</p>	<p>第三課 三月二〇日 「すると、玉座に座っておられる方が、『見よ、わたしは万物を新しくする』と言い、また、『書き記せ。これらの言葉は信頼でき、また真実である』と言われた」 黙示録 二二ノ五 新共同訳</p>	